

スーパーマーケット販売統計調査資料

2025 年 3 月実績 速報版

2 月実績 確報版

2024 年度集計 速報版

(2025 年 4 月 22 日公表)

調査資料概要

【パネル 270 社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版：前月販売実績を速報値として公表 確報版：速報値に精度の高い集計を加え確報値として公表

【全店・既存店】

全店：前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較 既存店：前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮三部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜		惣菜、折詰料理、揚げ物、おにぎり、寿司、インスタペーカリー、ファーストフード
		日配		豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム
		一般食品		調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類
	非食品			日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具
	その他			テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州地方・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄
北日本日本海側	北海道の日本海側とオホーツク海側（宗谷南部）、東北日本海側
太平洋側	北海道の太平洋側とオホーツク海側（網走・北見・紋別地方）、東北太平洋側
東日本日本海側	北陸地方
太平洋側	関東甲信、東海地方
西日本日本海側	近畿日本海側、山陰、九州北部地方
太平洋側	近畿太平洋側、山陽、四国、九州南部
沖縄・奄美	鹿児島県奄美地方、沖縄地方

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2025年4月22日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査 2025年3月実績 速報版（パネル270）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	108,995,480	100.0%	104.8%	103.8%
食品合計	100,756,438	92.4%	105.1%	104.1%
生鮮3部門合計	37,344,819	34.3%	104.4%	103.2%
青果	15,917,402	14.6%	109.2%	108.2%
水産	9,065,115	8.3%	99.5%	98.3%
畜産	12,362,301	11.3%	102.3%	101.0%
惣菜	11,863,234	10.9%	104.8%	103.2%
日配	21,922,292	20.1%	103.4%	102.5%
一般食品	29,626,093	27.2%	107.6%	106.7%
非食品	5,731,195	5.3%	99.2%	99.1%
その他	2,507,885	2.3%	104.0%	103.0%

地方分類別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北地方	14,969,300	43	104.2%	103.3%
関東地方	40,829,054	73	105.3%	104.3%
中部地方	13,362,467	53	104.7%	103.3%
近畿地方	23,482,694	44	104.9%	103.6%
中国・四国地方	10,983,120	34	105.3%	104.4%
九州・沖縄地方	5,368,846	23	101.9%	103.0%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	555,499	46	103.2%	103.2%
4～10店舗	4,798,114	84	103.9%	103.2%
11～25店舗	8,604,418	48	105.7%	105.0%
26～50店舗	19,290,157	46	104.2%	103.4%
51店舗以上	75,747,291	46	104.9%	103.8%
集計企業数（社）	270	既存店総売上高（万円）		107,031,110
総店舗数（店舗）	8,382	店舗平均月商（万円）		13,004
総売場面積（㎡）	14,047,697	売場1㎡あたり売上高（万円）		7.8

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2025年4月22日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査 2025年2月実績 確報版（パネル270）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	99,695,923	100.0%	102.9%	102.2%
食品合計	92,222,930	92.5%	103.2%	102.4%
生鮮3部門合計	34,076,109	34.2%	102.8%	102.0%
青果	14,319,384	14.4%	107.6%	106.8%
水産	8,192,965	8.2%	98.7%	97.8%
畜産	11,563,760	11.6%	100.4%	99.5%
惣菜	11,243,996	11.3%	102.5%	101.1%
日配	20,009,743	20.1%	101.6%	101.1%
一般食品	26,893,081	27.0%	105.2%	104.6%
非食品	5,279,860	5.3%	98.9%	98.7%
その他	2,193,179	2.2%	101.6%	100.9%

地方分類別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北地方	13,191,073	43	101.5%	100.9%
関東地方	36,837,209	73	103.2%	102.6%
中部地方	12,297,436	53	103.2%	101.9%
近畿地方	22,433,876	44	103.7%	102.5%
中国・四国地方	10,092,204	34	104.3%	103.4%
九州・沖縄地方	4,844,124	23	100.1%	100.5%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	510,302	46	98.4%	99.4%
4～10店舗	4,392,875	84	101.4%	100.9%
11～25店舗	8,331,603	49	102.2%	101.7%
26～50店舗	17,062,726	45	102.0%	101.8%
51店舗以上	69,398,418	46	103.4%	102.5%
集計企業数（社）	270	既存店総売上高（万円）		97,704,968
総店舗数（店舗）	8,384	店舗平均月商（万円）		11,891
総売場面積（㎡）	14,014,562	売場1㎡あたり売上高（万円）		7.1

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2025年4月22日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査 2024年 年度実績（パネル270）速報版

	全店売上高（万円）	構成比	前年比 （全店）	前年比 （既存店）
総売上高	1,280,356,367	100.0%	103.7%	102.8%
食品合計	1,167,812,644	91.2%	104.0%	102.9%
生鮮3部門合計	432,197,171	33.8%	103.8%	102.7%
青果	180,945,906	14.1%	106.4%	105.4%
水産	107,366,361	8.4%	102.3%	101.2%
畜産	143,884,904	11.2%	101.9%	100.7%
惣菜	143,199,312	11.2%	104.6%	103.2%
日配	259,863,981	20.3%	102.1%	101.2%
一般食品	332,552,180	26.0%	105.4%	104.5%
非食品	78,162,094	6.1%	100.7%	100.2%
その他	34,381,629	2.7%	102.7%	102.3%

エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年比 （全店）	前年比 （既存店）
北海道・東北地方	172,390,449	43	102.4%	101.7%
関東地方	472,958,873	73	104.7%	103.5%
中部地方	157,028,811	53	103.2%	102.2%
近畿地方	283,934,486	44	103.4%	102.3%
中国・四国地方	129,504,460	34	104.1%	103.1%
九州・沖縄地方	64,539,288	23	102.2%	102.3%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年比 （全店）	前年比 （既存店）
1～3店舗	6,377,005	45	98.4%	99.6%
4～10店舗	55,519,060	85	101.8%	101.5%
11～25店舗	107,806,373	49	102.2%	102.5%
26～50店舗	220,645,303	45	102.9%	102.2%
51店舗以上	890,008,626	46	104.3%	103.1%

※保有店舗数カテゴリーは2024年4月時点での保有店舗数による分類

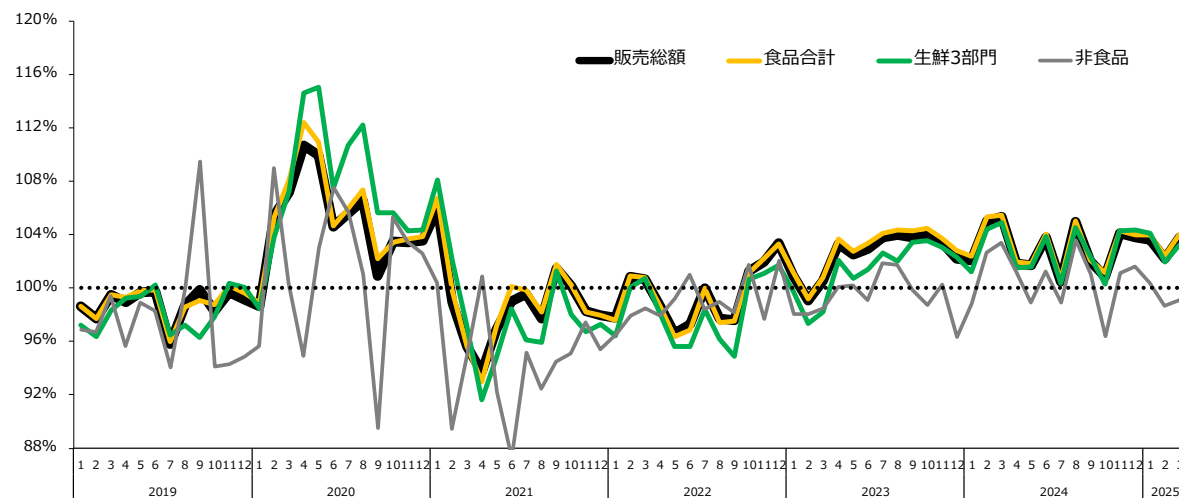
集計企業数（社）	270	既存店総売上高（万円）	1,258,432,588
----------	-----	-------------	---------------

※売上高は税抜金額

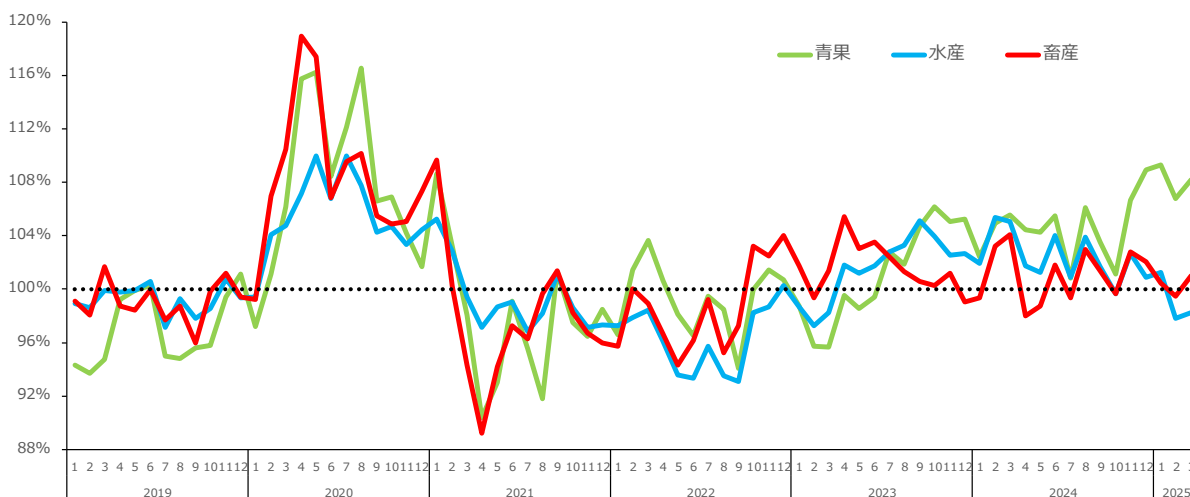
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計調査 前年同月比（既存店）推移 2019年1月～

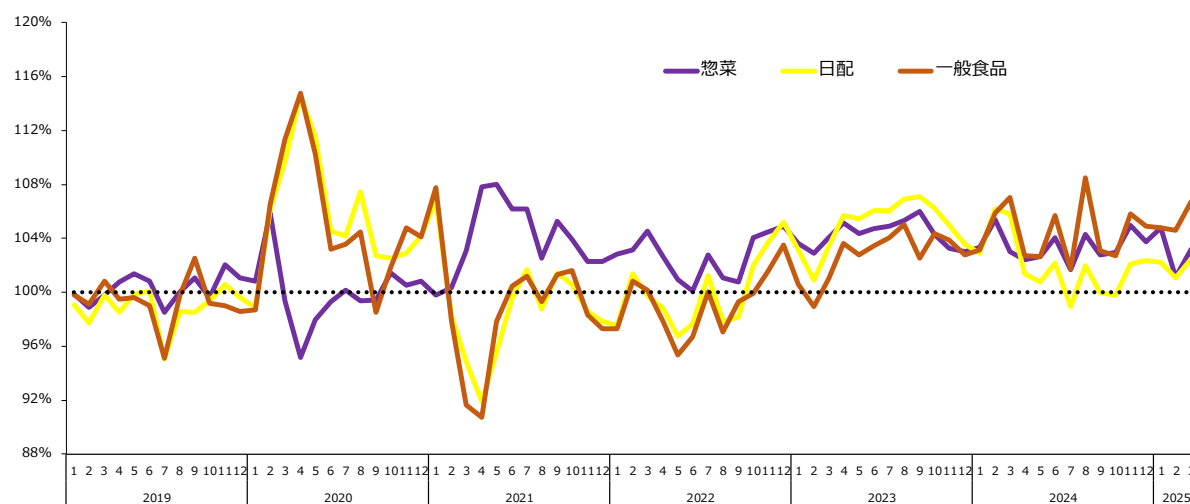
総売上高・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2025年3月実績は速報版

2025年3月 エリア別気候状況

3月の気温：全国的に高かったが、日による変動が大きかった。

上旬：西日本では高かった。

中旬：北日本では高かった。

下旬：北日本、東日本、西日本ではかなり高かった。

2024年3月との比較：上旬と下旬は全国的に前年より高い気温となった。

	平年との比較 (℃)						今年と前年との差 (℃)		
	2025年3月 (今年)			2024年3月 (前年)					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北日本 日本海側	0.5	1.0	1.6	-1.6	0.5	0.9	2.1	0.5	0.7
太平洋側	0.8	1.1	2.3	-1.5	0.4	1.0	2.3	0.7	1.3
東日本 日本海側	0.0	0.3	3.4	-1.6	0.5	0.8	1.6	-0.2	2.6
太平洋側	0.2	0.2	3.4	-1.2	0.5	0.8	1.4	-0.3	2.6
西日本 日本海側	0.8	-1.0	3.1	-0.9	0.5	2.2	1.7	-1.5	0.9
太平洋側	0.8	-0.7	2.9	-1.0	0.1	1.7	1.8	-0.8	1.2

平年差

+2℃以上
+1℃以上

-2℃以上
-1℃以上

前年差

+2℃以上
+1℃以上

-2℃以上
-1℃以上

3月の日照時間：東日本太平洋側と西日本で少なかった。

上旬：北日本では多かった。東日本太平洋側、西日本では少なかった。

中旬：日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側ではかなり少なかった。東日本日本海側では少なかった。

下旬：西日本日本海側ではかなり多かった。東日本、西日本太平洋側では多かった。北日本日本海側ではかなり少なかった。

2024年3月との比較：中旬は東日本太平洋側と西日本で少なく、下旬は北日本で少なく、東・西日本で多くなった。

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差		
	2025年3月 (今年)			2024年3月 (前年)					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北日本 日本海側	120	100	72	95	103	124	25	-3	-52
太平洋側	117	95	91	106	100	112	11	-5	-21
東日本 日本海側	99	83	125	65	105	87	34	-22	38
太平洋側	83	79	119	106	122	89	-23	-43	30
西日本 日本海側	80	67	133	106	128	81	-26	-61	52
太平洋側	75	67	123	114	120	87	-39	-53	36

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

3月の降水量：西日本日本海側で多かった。

上旬：東日本太平洋側、西日本日本海側では多かった。北日本日本海側では少なかった。

中旬：北日本太平洋側、東日本太平洋側ではかなり多かった。

下旬：北日本日本海側ではかなり多かった。東日本太平洋側、西日本日本海側では少なかった。

2024年3月との比較：上旬は西日本で多く、北・東日本日本海側で少なく、中旬は北・東日本太平洋側で多く、下旬は北日本日本海を除き少なくなった。

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差		
	2025年3月 (今年)			2024年3月 (前年)					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北日本 日本海側	59	111	175	117	91	84	-58	20	91
太平洋側	73	192	112	73	117	161	0	75	-49
東日本 日本海側	84	104	85	166	112	158	-82	-8	-73
太平洋側	128	211	43	117	131	243	11	80	-200
西日本 日本海側	168	109	57	82	84	268	86	25	-211
太平洋側	113	88	82	71	134	237	42	-46	-155

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

気象庁ホームページ「2025年3月の気候」を参考に事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2025 年 4 月調査結果（3 月実績）
（2025 年 4 月 22 日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査 DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感 DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

4 月調査（3 月実績）結果概況

現状判断 DI は 50 台を回復

3 月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断 DI の現状判断は前月から+1.7 の 50.2、見通し判断が前月から+0.6 の 44.6 となり、共に小幅な改善をみせ、現状判断は 2 ヶ月ぶりに 50 を回復した。

経営動向調査では、売上高 DI は前月から大幅に上昇、収益 DI も小幅な上昇となった。生鮮品仕入原価 DI は、食品仕入原価 DI と共に、二桁プラス圏で高止まり傾向が続くなか、来客数 DI がプラス域まで上昇したことが影響している。また客単価 DI もプラス幅を拡大した。

カテゴリ動向調査では、相場高が継続している青果 DI、米の価格高騰等により一般食品 DI も二桁のプラスを維持した。生鮮品価格や米の高騰により、惣菜が代替需要としても支持が高まっており、惣菜 DI もプラス圏を維持している。水産 DI や畜産 DI はマイナス圏での推移が続いている。（カテゴリ別動向に詳細掲載）

景況感調査は、現状判断には小幅に改善傾向がみられたが、見通し判断は前月から大きな変化はみられなかった。（長期傾向は P11 参照）

引き続き、青果相場高や米の価格高騰を背景に関連商品を含めて売上が伸長している。一方で畜産や日配など他のカテゴリには、節約意識により買上点数の減少による売上の伸び悩みが指摘され、特に急激な米の価格高騰に対しては、この先の悪影響を警戒するコメントもみられた。景気判断において、現状判断が改善を続けるなか、見通し判断の低迷が続く状況が続いていることから、先行きへの不安は高まりつつある。食料品に対する軽減税率幅の拡大など、現場の生産性を低下させない物価高騰対策が求められるといえよう。

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：50.2 (+1.7)
前月：48.5

消費者購買意欲DI
当月：47.3 (+2.2)
前月：45.1

周辺地域 競合状況DI
当月：45.5 (+0.4)
前月：45.1

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：46.8 (+0.4)
前月：46.4

見通し判断

景気判断DI
当月：44.6 (+0.6)
前月：44.0

消費者購買意欲DI
当月：43.1 (-0.5)
前月：43.6

周辺地域 競合状況DI
当月：43.2 (+1.2)
前月：42.0

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：44.3 (-0.9)
前月：45.2

経営動向調査 経営状況

売上高DI
当月：15.1 (+6.0)
前月：9.1

客単価DI
当月：18.1 (+2.9)
前月：15.2

来客数DI
当月：0.9 (+7.8)
前月：-6.9

収益DI
当月：3.0 (+2.7)
前月：0.3

販売価格DI
当月：24.0 (+0.1)
前月：23.9

生鮮品仕入原価DI
当月：22.3 (+1.7)
前月：20.6

食品仕入原価DI
当月：23.5 (+1.3)
前月：22.2

カテゴリ動向

青果DI
当月：24.8 (+1.4)
前月：23.4

水産DI
当月：-10.6 (-0.1)
前月：-10.5

畜産DI
当月：-4.3 (+1.1)
前月：-5.4

惣菜DI
当月：10.8 (+6.8)
前月：4.0

日配DI
当月：2.0 (+2.5)
前月：-0.5

一般食品DI
当月：14.8 (+3.6)
前月：11.2

非食品DI
当月：-4.4 (+6.3)
前月：-10.7

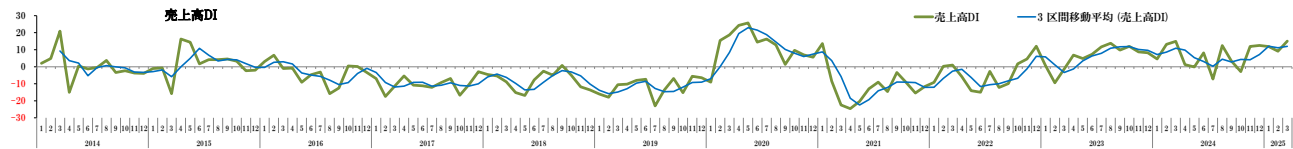
※DI 値は前年同月との比較／○内は前月 DI からの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高 DI

前月から上昇し、プラス幅を拡大

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	2.4	19.2	26.9	42.5	9.0	9.1
売上高 (当月)	2.1	8.2	29.5	47.9	12.3	15.1



2. 収益 DI

前月から小幅に上昇、プラス圏を維持

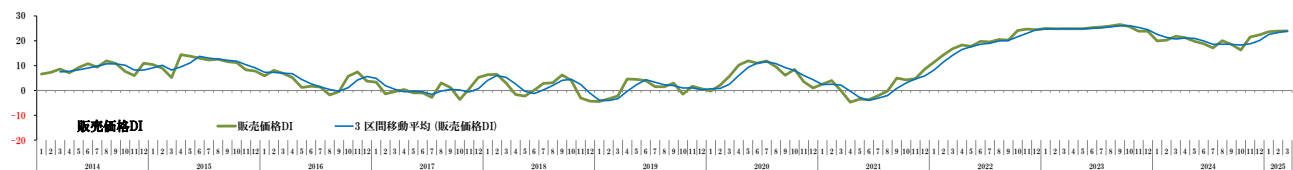
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	6.7	24.5	35.0	28.2	5.5	0.3
収益 (当月)	7.0	16.2	39.4	32.4	4.9	3.0



3. 販売価格 DI

前月から横ばい推移、二桁プラス水準で推移

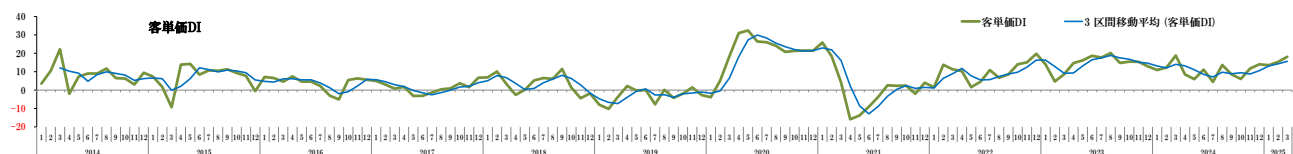
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.6	1.2	13.3	71.5	13.3	23.9
販売価格 (当月)	0.7	0.0	13.1	75.2	11.0	24.0



4. 客単価 DI

前月から小幅に上昇、二桁プラス水準を維持

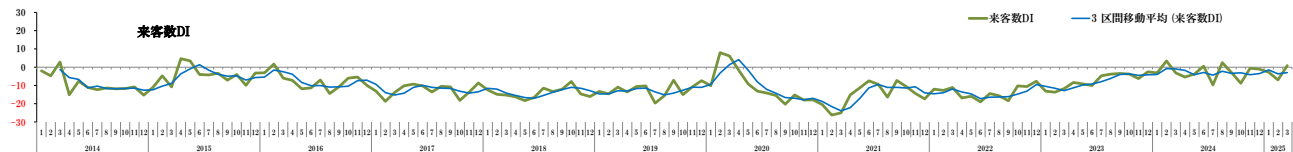
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	3.0	6.7	23.8	59.1	7.3	15.2
客単価 (当月)	0.7	4.8	24.8	60.7	9.0	18.1



5. 来客数 DI

前月から上昇、プラス域に回復

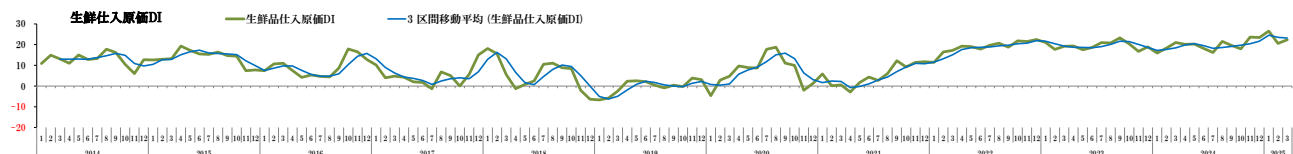
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	9.0	37.3	29.5	20.5	3.6	-6.9
来客数 (当月)	2.8	26.9	37.9	29.0	3.4	0.9



6. 生鮮仕入原価 DI

前月から小幅に上昇、2桁プラス水準で推移

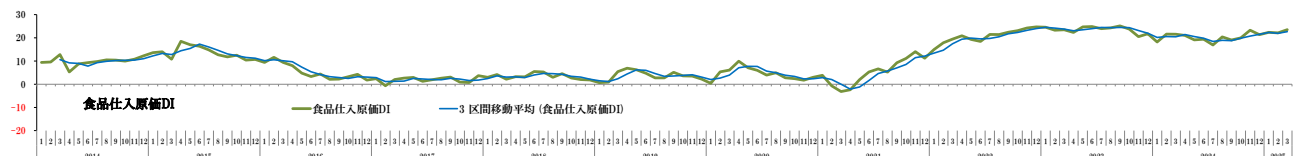
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.3	6.9	14.5	62.9	14.5	20.6
生鮮仕入原価 (当月)	0.0	4.3	15.7	66.4	13.6	22.3



7. 食品仕入原価 DI

前月から小幅に上昇、47 か月連続プラス域

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.3	3.2	16.5	63.9	15.2	22.2
食品仕入原価 (当月)	0.7	2.9	14.6	65.0	16.8	23.5

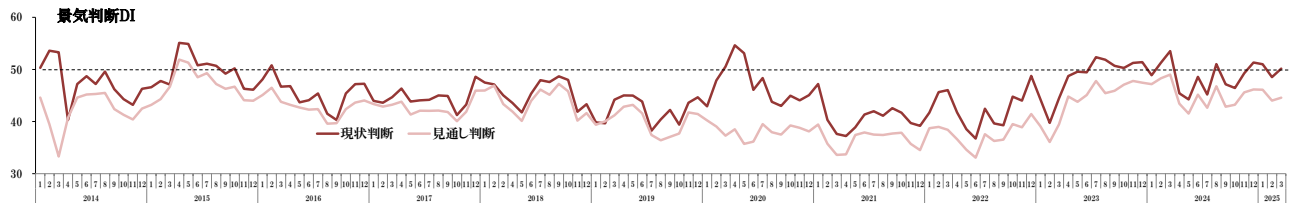


Ⅱ．景況感調査（2014 年 4 月～／周辺地域景気判断 2010 年 4 月～）

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は小幅に改善し 50 台を回復、見通し判断は横ばい

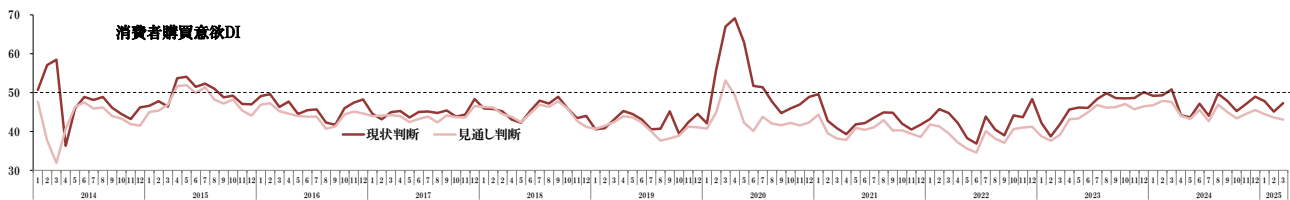
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断（前月）	1.8	18.9	62.7	16.6	0.0	48.5
【現状】景気判断（当月）	2.0	14.9	63.5	19.6	0.0	50.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断（前月）	3.6	30.5	52.7	12.6	0.6	44.0
【見通し】景気判断（当月）	2.7	26.4	60.8	10.1	0.0	44.6



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断は横ばい

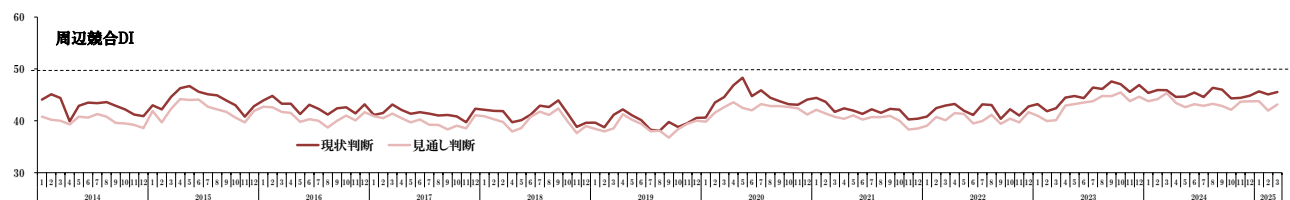
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲（前月）	0.6	27.2	63.3	8.9	0.0	45.1
【現状】購買意欲（当月）	0.0	21.1	68.7	10.2	0.0	47.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲（前月）	1.2	32.1	57.7	8.9	0.0	43.6
【見通し】購買意欲（当月）	0.7	30.4	64.9	4.1	0.0	43.1



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断共に前月水準で推移

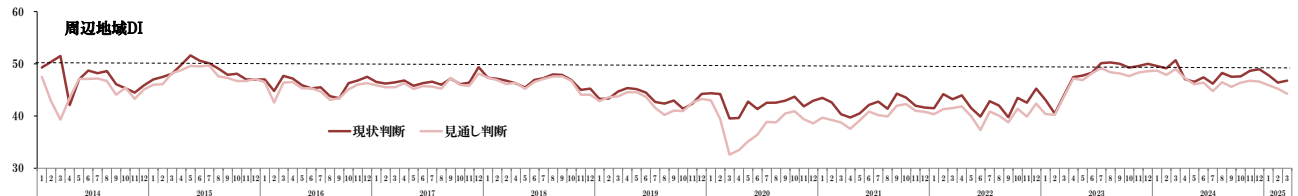
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況（前月）	2.4	19.0	75.0	3.0	0.6	45.1
【現状】競合状況（当月）	2.7	14.4	80.8	2.1	0.0	45.5
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況（前月）	5.4	23.8	68.5	2.4	0.0	42.0
【見通し】競合状況（当月）	3.4	21.2	74.7	0.7	0.0	43.2



4. 中核店舗周辺地域景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に前月水準で推移

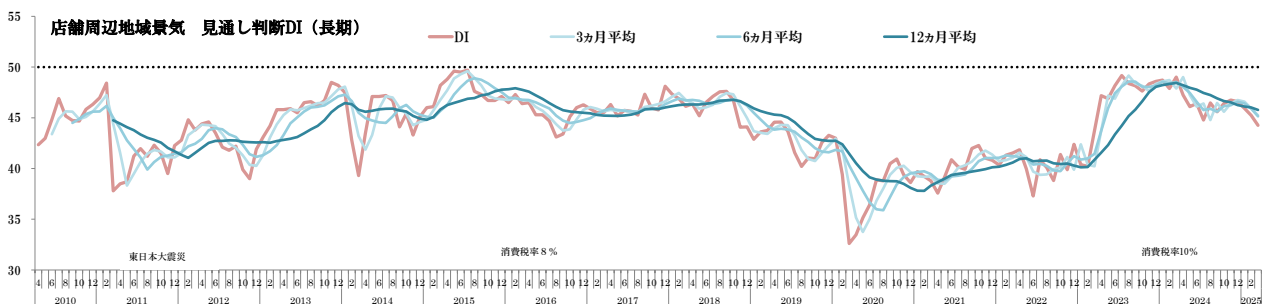
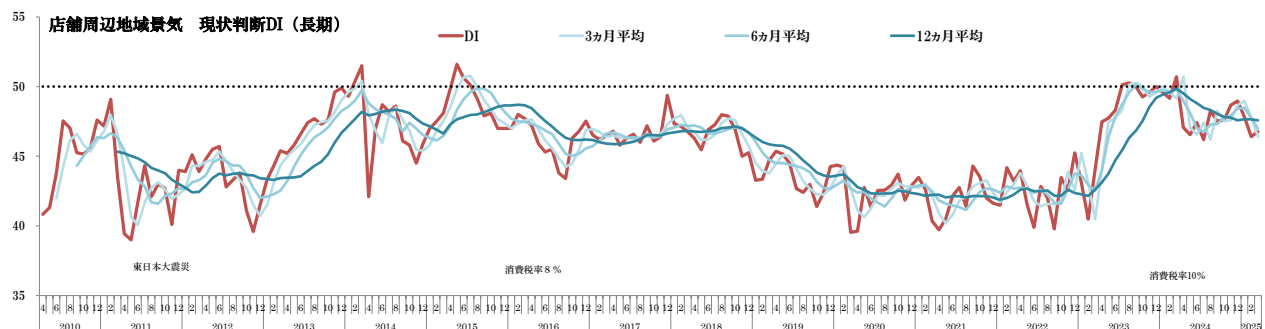
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.6	16.8	79.0	3.6	0.0	46.4
【現状】地域景気(当月)	0.0	15.6	81.6	2.7	0.0	46.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	1.2	20.8	73.8	4.2	0.0	45.2
【見通し】地域景気(当月)	0.0	26.4	70.3	3.4	0.0	44.3



・中核店舗周辺地域景気判断 DI 長期傾向 (2010 年 4 月～)

周辺地域景気判断 DI は 2011 年 3 月の東日本大震災以降低迷が続いたが、12 年 11 月から 16 ヶ月にわたる改善が続き、14 年 3 月は現状判断 DI が 51.5 を記録。14 年 4 月の消費税率 8% 引き上げにより大幅に悪化するも徐々に持ち直し、15 年 5 月には現状判断 DI は 51.6 に達し、調査開始以来の最高値を更新した。その後 15 ヶ月間にわたり悪化傾向は続き 16 年 9 月には、現状判断 DI は 43.4 まで低迷した。

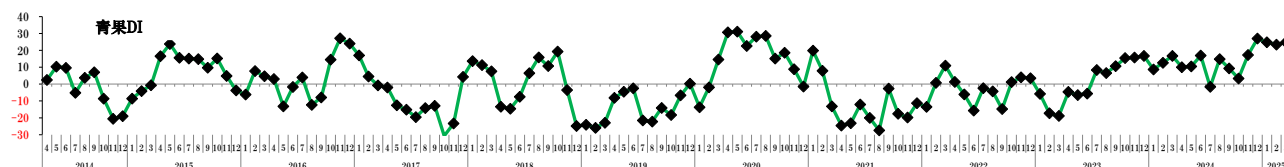
以後方向感の乏しい推移が続いたが、18 年の後半から悪化傾向が顕著となり、19 年 7 月には現状判断 DI は 42.3 まで低下した。21 年は、感染状況により上下する動きとなった。22 年は、感染が再拡大した 7 月以降に大幅な改善をみせた。23 年も改善が続き、7 月には判断の分かれ目である 50 を突破、その後も高水準を維持した。24 年前半に悪化したものの、後半は緩やかな改善傾向が続いた。25 年はダウントレンドが見られるが、3 月まで悪化幅は限定的となっている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果 DI：24.8（かなり好調）

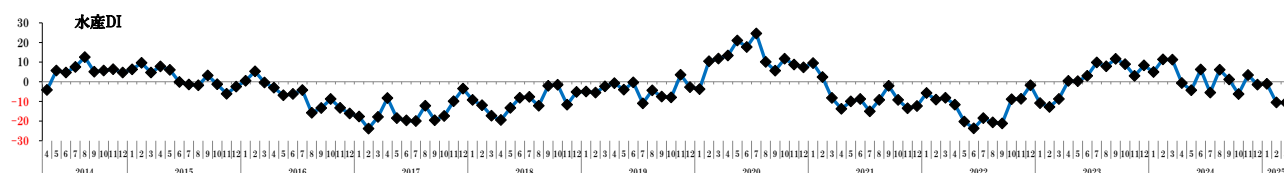
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	1.3	7.5	18.1	42.5	30.6	23.4
青果（当月）	1.4	7.2	15.1	43.2	33.1	24.8



中旬頃まで青果相場が高止まり、単価上昇により売上高としては好調。高値の影響で、価格の安定したキノコ類や、カット野菜の動きが良かった。寒暖差が大きく冷え込む日もあり、カレー・シチュー用の土物類、根菜類などホットメニュー関連も好調となった。サラダ関連野菜も好調とするコメントが多い。果実では入荷が増え、値ごろ感が出たイチゴが好調。一方で高値傾向にあるみかんやリンゴは好不調の判断がわかれた。輸入果物ではバナナが好調とのコメントが多い。

2. 水産 DI：-10.6（不調）

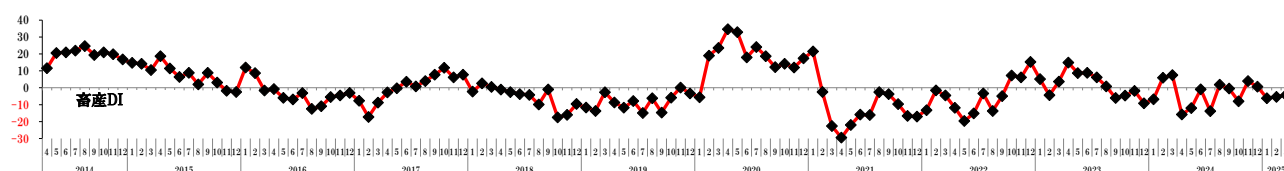
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	12.6	38.4	31.4	13.8	3.8	-10.5
水産（当月）	9.9	37.6	39.0	12.1	1.4	-10.6



前月からの相場高傾向に加え、引き続き生魚の入荷が不安定で、販売に苦心したとの声が多い。即食ニーズにより、海藻類や味付加工品、海鮮惣菜などが好調とのコメントが多かった。エビ・カニ類も引き続き好調。刺身類はマグロやカツオを中心に前年並みを確保した店舗が多い。生カキやブリは値上がりで伸び悩んだ。シラスやいかなごは不漁で不調。うなぎは国産の高騰で輸入品に需要がシフトした。魚卵・塩干は引き続き厳しい。

3. 畜産 DI：-4.3（やや不調）

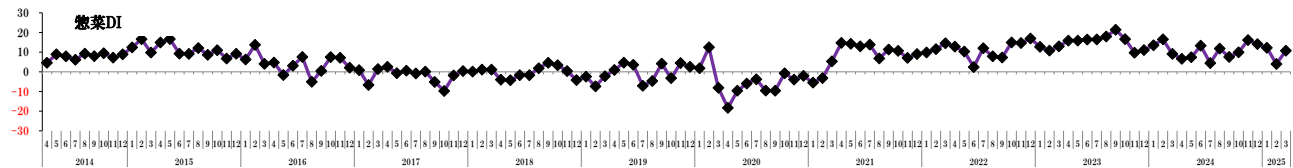
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	9.5	34.8	31.6	15.8	8.2	-5.4
畜産（当月）	7.1	32.9	35.7	18.6	5.7	-4.3



引き続き全般的な相場高が継続し、部門としての伸び悩みと豚肉・鶏肉への需要シフトが続いた。牛肉は引き続き、価格が抑えられる切り落としや小間切れなどが販売の中心となっており、週末も売上が伸びないとのコメントも。豚肉は国産豚の価格上昇もあり輸入豚や味付肉が好調となった。鶏肉は堅調に推移するも、価格に上昇傾向がみられ、伸び悩んだ店舗も。ハム・ソーセージなどの加工肉は、好不調の判断がわかれた。

4. 惣菜DI：10.8（好調）

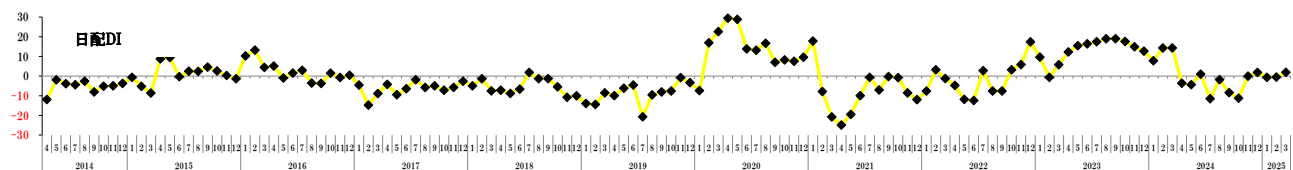
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	2.5	24.2	33.1	35.0	5.1	4.0
惣菜（当月）	1.4	12.2	38.8	36.7	10.8	10.8



コメの価格高騰により米飯類が好調、青果相場の高騰による惣菜類の需要増傾向が続いている。一方で、コスト高騰の価格転嫁により伸び悩みを指摘するコメントもみられた、寒暖差が大きい月で、揚げ物や麺類などホットメニューは堅調に推移したが、寿司関連は伸び悩んだ。ひな祭り関連は、前年の日曜日から今年は月曜日となり苦戦。卒業式や花見などのイベントに合わせたメニュー展開が成果をあげている声も聞かれた。

5. 日配DI：2.0（やや好調）

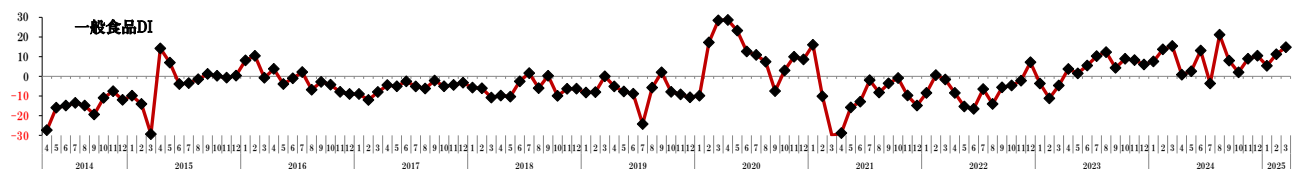
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	6.4	28.7	29.3	31.8	3.8	-0.5
日配（当月）	5.1	16.7	47.1	27.5	3.6	2.0



寒暖差が大きく、おでんや鍋などホットメニュー関連の豆腐や水物、練り物の動向には地域差もみられた。米高騰の影響を受け、チルド麺類の動きがよい。青果相場高騰により冷凍野菜などの冷凍食品、野菜飲料、漬物類の好調が継続している。単価上昇の卵が売上高の維持を支えた。洋日配では牛乳やヨーグルト、値上げのあったパン類には、前月に比べ回復傾向も苦戦が続く。競合店との価格競争激化を指摘するコメントがみられた。

6. 一般食品：14.8（好調）

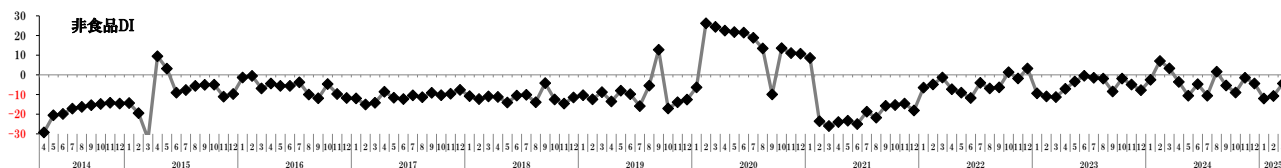
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	1.9	14.6	33.5	36.7	13.3	11.2
一般食品（当月）	2.1	12.9	27.9	37.9	19.3	14.8



米類は価格高騰や供給不足報道等が継続しており、大きく売上高を伸ばしている。レンジ米飯など代替品の需要も高止まりになっている。関連して餅やパスタ、乾麺、インスタント麺類の動きもよい。一方で、油や調味料の動きが鈍く、カレーやスープなどのホットメニューは伸び悩んだ。値上げのあったインスタントコーヒーは順調に推移した店舗が多い。酒類や飲料の動きは全体的には鈍かったが、ビールや酎ハイなどが4月からの値上げを前に、駆け込み需要もみられた。

7. 非食品 DI：-4.4（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	11.0	40.3	32.5	13.0	3.2	-10.7
非食品（当月）	8.8	28.5	39.4	18.2	5.1	-4.4



4月からの値上げを控え、ティッシュペーパーを中心に紙製品の一部に駆け込み需要がみられ、好調に推移した。インフルエンザや花粉対策として、マスクに需要増がみられた。3月は寒暖差が激しく、冬物の商品管理に苦心したとのコメントがみられた。家庭用洗剤やペットフードは伸び悩んだ。ドラッグストアやホームセンターなどとの競合激化を指摘するコメントが多くみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～20 好調：20～10 やや好調：10～0
 やや不調：0～-10 不調：-10～-20 かなり不調：-20～

2025年4月調査（3月実績）キーワード TOP3

1. 米価格高騰、供給不足
2. 青果相場高騰
3. 寒暖差が大きい

（参考）2024年4月調査（3月実績）キーワード TOP3

1. 前年より低い気温
2. 週末が5回
3. ハレの日需要好調、花見時期のずれ

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

3月実績速報版 155社
 2月実績確報版 177社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp